

シンカ

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

勝山

令和5年度 勝山市地域おこし協力隊 活動報告会

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui
Katsuyama

Fukui prefectural
Katsuyama High School

永野 龍典



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真

勝山高校 探究コーディネーター

真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

シンカ

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



真 誠 信

福井県立
勝山高等学校

Fukui prefectural
Katsuyama High School



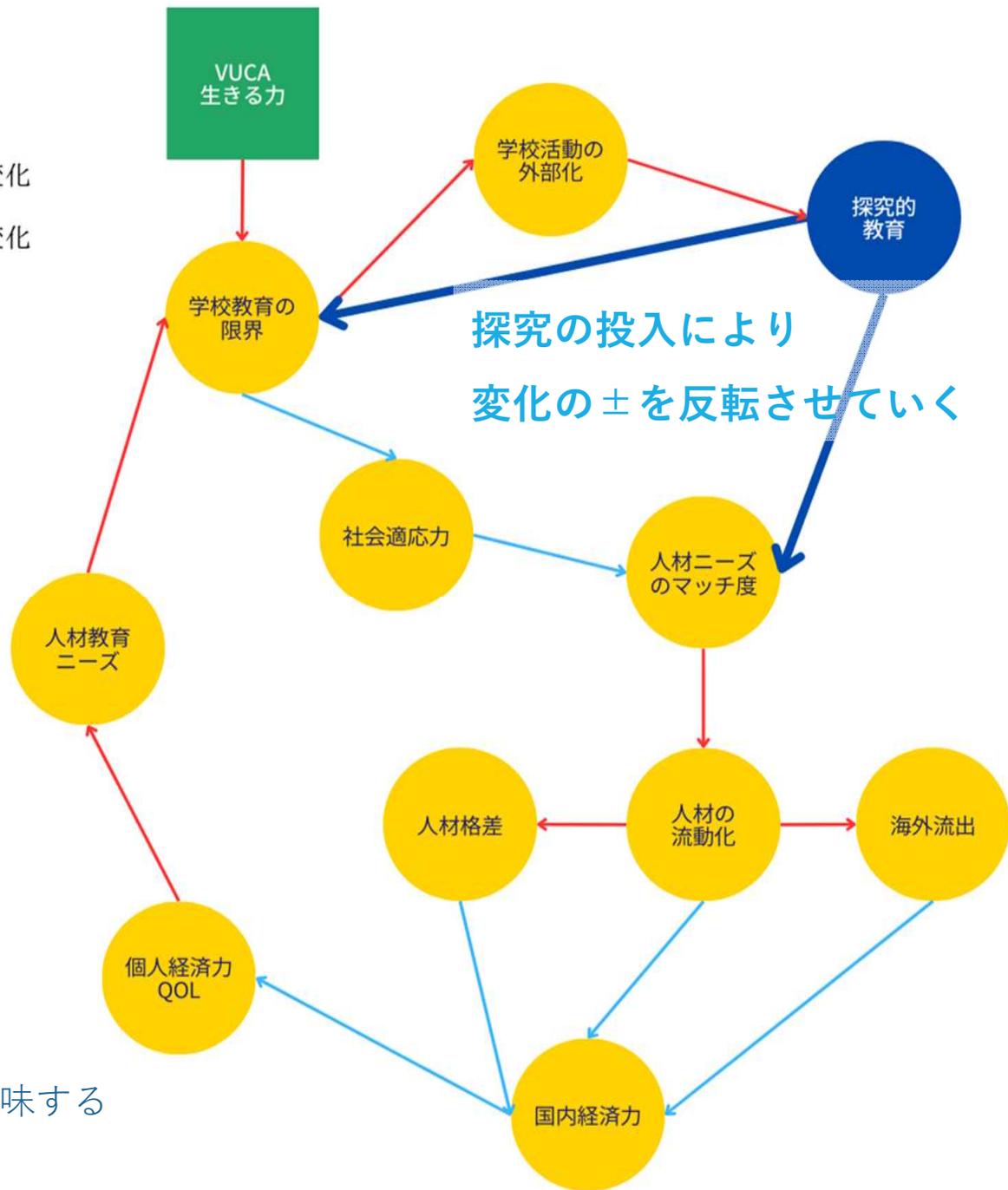
真 誠 信

福井
勝山

探究学習の必要性と VUCA社会

VUCA (ブーカ) とは、
Volatility (変動性)
Uncertainty (不確実性)
Complexity (複雑性)
Ambiguity (曖昧性)
という4つの単語の頭文字をとった言葉
目まぐるしく変転する予測困難な状況を意味する

→ + (増加) の変化
→ - (減少) の変化



勝山高校探究の特徴

一人一テーマでの探究学習を運用

主体的探究が難しいといわれる中堅層の普通校で、
自己と向き合い「**1人1テーマ**」を見つけ進んでいく

普通科・探究特進科の併行運用

探究特進科と普通科で時間数は異なるが、
発表やラウンドテーブルの機会など区切りを同一にし**相互に影響しあう関係**

多様な対話機会の創出

ラウンドテーブル、1 on 1 につながりを総動員して**外部を呼び込み**、
校内外との**対話機会を創出**、**言語化して伝える**機会を重視

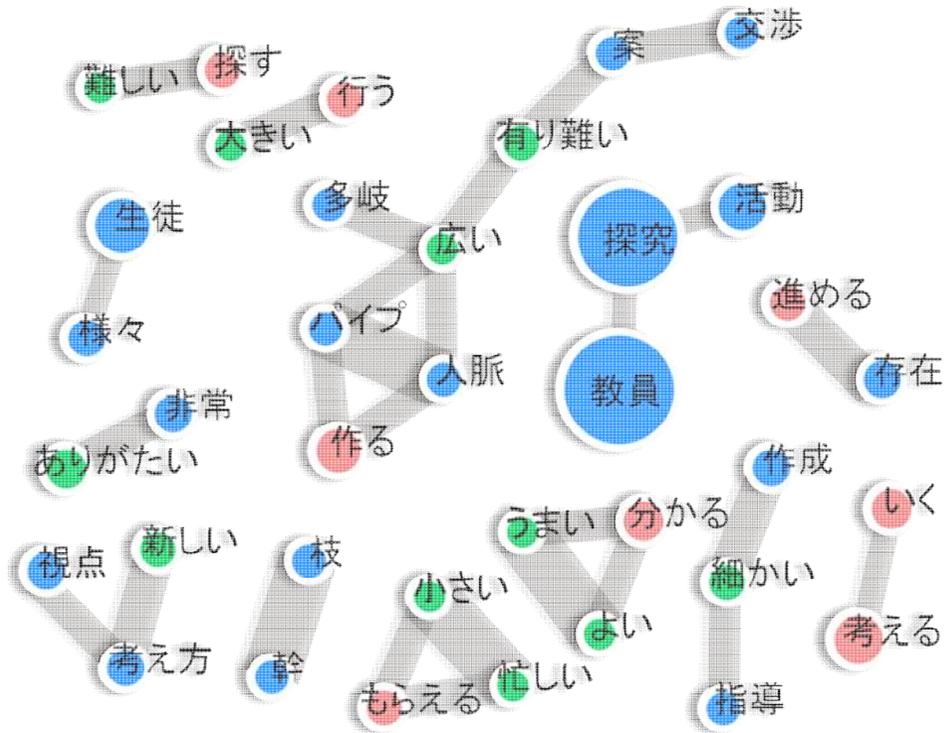
コーディネーターの立ち回り

- 地域・業界を超えた**連携の推進**
- カリキュラムづくり、授業提案・実施、指導案
- 定量的なアンケートを用いた**探究の健康診断データ**の蓄積
- 後衛としてのポジショニングで、教員（前衛）の**行動量確保**

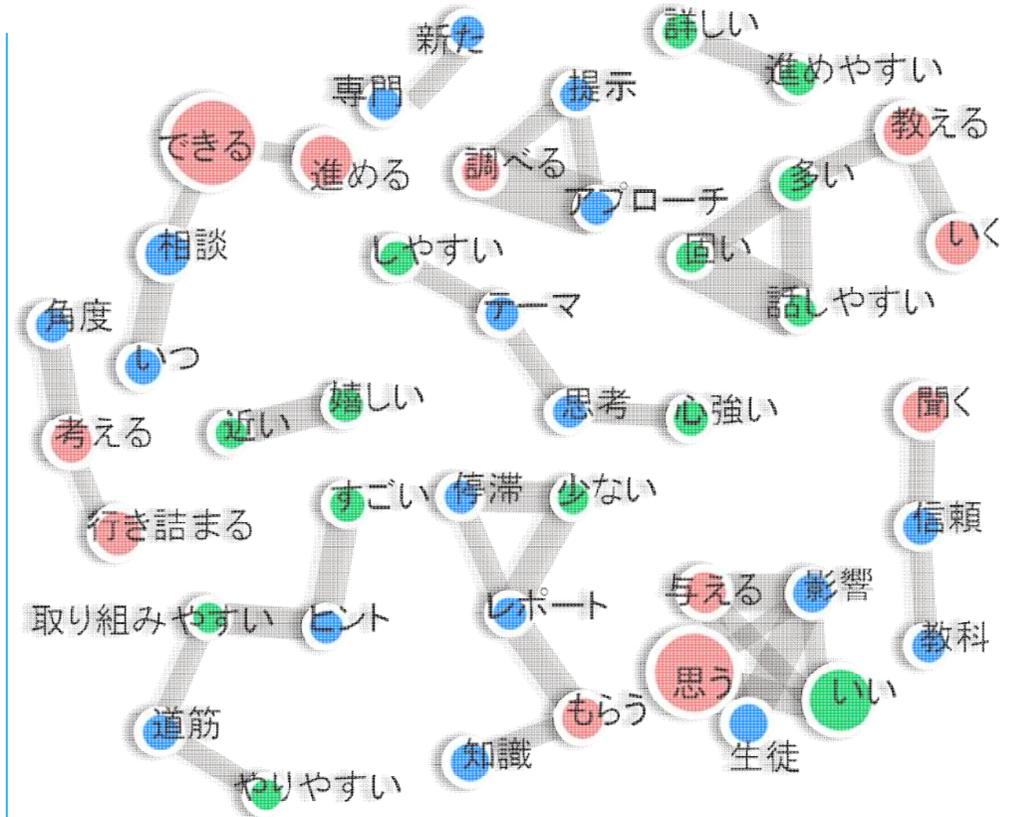
無記名アンケート

探究CNって何者？

教員n=21



生徒（探究特進科1.2年）n=45



教員の声

この2年の変化

- 最初、1人1テーマは不安だったが、**自分の興味に基づく**テーマは**やる気が全く違う**。次第に生徒が自責で勝手に進めるようになる。
- 以前の探究の頃に比べ**生徒が自分で動くし、よく話す**ようになった。**学校の外に働きかけて**いて、CNもそのきっかけを作っている。
- 探究の意義づけを教員が高める必要=**教員にもワクワク**が必要。
「好き」は大事だがその先を見据えた問いを持たせる事も大事。
- **教員と違うバックグラウンド**は生徒にも刺激。
CNの常駐は外部研修に行く負担を抑えた**OJTとして機能**。
- 個人の状況把握や対話機会・量の確保に**個人ノート**は有効。
普通科の週1回で進行する探究には**更なる策**が必要。
- 探究で個人の成長が垣間見れる。**学力以外にも軸**が持てるようになり、
一人一人の自身の**学びの動機**につながっていくことに期待。

去年のこの場で掲げた目標

隠れた探究先進校

としてPRしていく

去年のこの場で掲げた目標

2 属人的でない授業展開ができる仕組みづくりを前倒して実施

- ➡ 探究授業の授業案集を共有、CNの任期満了を意識した業務移管を開始
- ➡ 各教員が独自に授業を考案する文化ができつつある

3 生徒の探究を介した地域参加機会を創出していく

- ➡ 地域イベントでの発表機会・参加機会
- ➡ 地域の事業者に協力を働き掛ける探究活動